

## コンピューター一人一台時代の 善い使い手を育てましょう！

名古屋市立矢田小学校長  
松山 清美

一人1台ずつのタブレット端末が整い、9月1日に、新しいタブレットの「開封の儀」を行いました。今後は、「自分のタブレット」として、学校や家庭で活用していきます。一人1台なので、学校では、使いたいときに使うことができます。また、家庭に持ち帰ることも可能となるので、家庭においても使うことができるようになります。

そこで、次のような心配の声が聞こえてきそうです。



おもちゃになるんじゃないかしら？



やりすぎて、目が悪くなるんじゃないか？

学校の教員からも、休み時間や自由な時間の使用について、同様な心配の声はあります。

これまで、学校教育においては、悪影響が子どもたちに及ばないように、「～してはいけない」と、行動を規制したり、禁止したりしがちでした。

しかし、既に子どもたちを取り巻く環境は、コンピュータやネットの活用は不可欠です。子どもが、コンピュータやインターネットとのより良いつきあい方を自ら考え判断し、「善い使い手」となることが重要だと、本校では考えています。

昨今、「デジタル・シティズンシップ」という考え方が注目されています。そこで、本校では、Bのような、子ども主体の、ポジティブな考えで取り組んでいきたいと思えます。



A  
こういう使い方をすると、こんな危険なことになるよ。

だから、こんなことは、しちゃだめだよ。

わかった。こわいから、使うのはやめておこう。



B  
悪影響がないように使うには、どうしたらいい？

悪影響がないように、こんな工夫しよう。

互いを尊重して、自分の行動に責任をもって、安全に使おう。



本校では、裏面のような「10の約束」を、「～しない」ではなく、「～しよう」という形で示しています。ご家庭においても、参考にしてご助言をいただければ幸いです。